

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : EzSubCell Fraction
製品コード : WSE-7422

会社情報

会社名 : アトー株式会社
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2
担当部門 : 本社 顧客部
電話番号 : 03-5827-4861
ファックス番号 : 03-5827-6647
緊急連絡先 : 03-5827-4871
使用用途 : 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 水生環境有害性-急性有害性: 区分3
: 水生環境有害性-長期間有害性: 区分3

GHSラベル要素

シンボル : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : H402 水生生物に有害
: H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策 : P273 環境への放出を避けること

廃棄 : P501 内容物/容器を都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託し
廃棄すること

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

WSE-7422 EzSubcell Fraction				
RIPA Lysis buffer				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ポリ(オキシエチレン)=(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニルエーテル	1.0%	(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₄ H ₂₂ O	1-408	9036-19-5
塩化ナトリウム	0.9%	ClNa	1-236	7647-14-5
Protease Inhibitor				
成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ジメチルスルホキシド	90%	C ₂ H ₆ OS	2-1553	67-68-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、十分にうがいをさせる。医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄める。意識のない場合は何も与えない。医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、乾燥砂、水(噴霧)
- 火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず保護具を着用し、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された廃液が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和 : 火気厳禁とし、ウェス、減圧等の方法で吸収させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。取り扱った後は石鹼などを用いてよく洗う。

注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の乱暴な扱いをしない。
漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気やミストを発生させない。使用後は容器を密封する。
取り扱い後は手、顔、等をよく洗い、うがいを励行する。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
安全取扱い注意事項 : 吸い込んだり、目、皮膚、および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
屋内作業場における取り扱い場所では局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光が当たらないように暗所に保管する。密栓して空気との接触を避ける。可燃物を近くに置かない。

技術的対策 : 換気の良い場所で容器を密栓して保管する。火源の近くに保管しない。

安全な容器包装材料 : ポリプロピレン、ポリエチレン、ガラス
堅牢で不活性な材質の容器を用いる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所的排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度、作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度
ACGIH TLV(s) : 設定されていない
日本産業衛生学会 : 設定されていない
生物学的暴露指標 : 設定されていない

保護具
呼吸器の保護具 : 保護マスク
手の保護具 : 保護手袋
目の保護具 : 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

RIPA Lysis buffer

物理的状态

形状 : 液体
色 : 無色透明
臭い : なし
pH : pH 7~8

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし
沸騰範囲 : データなし
融点 : データなし
引火点 : データなし
発火点 : データなし
爆発特性 : データなし

蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
その他データ	: なし

Protease inhibitor

物理的状态

形状	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: なし
pH	: データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: データなし
沸騰範囲	: データなし
融点	: データなし
引火点	: データなし
発火点	: データなし
爆発特性	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
その他データ	: なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: データなし
反応性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、ハロゲン化物

11. 有害性情報

製品の有害性情報 : データなし

成分の有害性情報

ポリ(オキシエチレン)=(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル

(CAS 番号 9036-19-5)

急性毒性: 経口 ラット LD50: 4190mg/kg

腹腔 ラット LD50: 770mg/kg

静脈 マウス LD50: 70mg/kg

経口 ラットを用いた経口投与試験の LD50=4,190mg/kg(EO 9)、11,600mg/kg

(EO 9)(CERI ハザードデータ集 2001-42(2002))、1,700mg/kg(EO 8-10)、

>28,000mg/kg(EO 40)(CERI・NITE 有害性評価書 No.105(2006))のうち、最も小さい値
1,700mg/kg を適用した。

市場で流通している一般的な製品のEO鎖長は9~10である(CERI・NITE 有害性評価
書 No.105(2006))ので、9EO の製品は LD50=4,190mg/kg となる。

皮膚腐食性・刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 目刺激 ウサギ 1% 重度

CERI ハザードデータ集 2001-42(2002)のウサギを用いた眼刺激性試験の結果の記述に「中等度の刺激性を示す」とあり、CERI・NITE 有害性評価書 No.105(2006)のウサギを用いた Draize 法による試験の結果の記述に「OPE1、OPE3 は軽度の刺激性、OPE5、OPE6-8、OPE8-10、OPE12-13 は中等度の刺激性を示す」とあり、閾値法による試験の結果の記述に「OPE1、OPE3 は軽度の刺激性、OPE5、OPE8-10、OPE12-13 は中等度の刺激性を示す」とあることから、中等度の刺激性を有するとした。

(注)OPE_n:EO 数が n である化合物を示す。

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性: 藻類(セテナストラム): 96時間 EC50=0.21mg/L (CERI・NITE 有害性評価書
(暫定版)、2006)

生物蓄積性が低いものの(BCF<31 (既存化学物質安全性点検データ))、急速
分解性がない(BODによる分解度:22% (既存化学物質安全性点検データ))。

残留性／分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

13. 廃棄上注意

残余廃棄物 : 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後、容器の種類
 に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当

国連分類 : 非該当

陸上 : なし

海上 : なし

航空 : なし

国際規制 : なし

国内規制 : なし

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落
 下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適応法令

化学物質管理促進法 : No.408、第一種

(ポリ(オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル)

労働安全衛生法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化審法 : 非該当

消防法 : 危険物第4類 第3石油類 (水溶性) 危険等級3

(ジメチルスルホキサイド)

航空法 : 非該当

その他法律 : 特になし

16. その他

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施してください。

また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。